

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員

安藤はるみの



平和説く

高校生に

熱くなる

(はるみのワクワク川柳)

～県議会報告会のお知らせ～

とき 2月13日(土)午後2時～3時半
場所 弘前文化センター1階会議室
(福島原発事故調査報告も致します)

～さようなら原発・核燃 3・11弘前集会のお知らせ～

とき 2月27日(土)午後3時～5時
場所 弘前市民会館大会議室
講師 吉沢正巳氏「希望の牧場」代表
(原発事故後も和牛を殺さずに飼いつづけている方です。)



1月10日
「二十歳の祭典」会場付近で市議団と共に



2月3日 憲法9条つがる女性の会
「アベ政治を許さない」スタンディング行動
(3月、4月、5月もりんご広場で行います。ご参加を!)



1月19日
日本共産党つがる女性後援会
戦争法廃止を求める全国一斉行動

環境厚生常任委員会

1月21日

●介護保険法優先となる65歳以上の障害福祉サービスの確保を

障害福祉課長

「厚労省の通知で一律に介護保険サービスを優先的に利用するものとはせず、個々のケースに応じて市町村が適切に判断することとされている。介護保険サービスには相当するものがないサービスや不足するサービスは、障害福祉サービスを利用できるとされている。」

●里親制度の充実を

こどもみらい課長

「県内の登録里親数は127世帯でそのうち委託を受けている里親数は45世帯、委託されている子どもは61人、一組の夫婦で4～6人を受け入れるファミリーホームは4か所、委託されている子どもは17人となっている。委託割合は25年末で20・2%で全国平均15・6%に比べ高い割合で推移している。」「弘前相談所、五所川原相談所では里親の方の委託率、受託率も

県平均より少なく、県南地域に比べ制度に対する普及が不十分となっている。今後児童相談所における里親優先の原則に沿った形で取り組んでいく」

●県立つくしが丘病院を敷地内禁煙とすべき

病院局経営企画室長

「敷地内禁煙導入を検討していきたい」

●カラスの捕獲の実態は

自然保護課長

「法律により捕獲は禁じられているが、生活環境や農林水産業・生態系に被害が生じる恐れがあり、被害防除対策でも防止できない場合は有害鳥獣の捕獲が認められている。青森県では市町村長に権限を委託しており市町村長が許可し、捕獲数は26年度6197羽のうち中南地域は1272羽となっている。捕獲方法は銃器と箱ワナと聞いている」

●関係市町村の原子力災害避難計画年度内策定状況及び避難のための福祉車両の確保は

原子力安全対策課長

「27年度末または28年度の早い時期に避難計画修正に取り組んでいた。福祉車両確保と避難までの間の福祉施設放射線防護対策を国などに要請し計画的に整備する」

ほつとタイム



若人も平和の取り組み

2月6日、「青森県私学を育てる会」主催の「私学のつどい」に参加しました。高校生より活動報告が行われました。青森県に対する私学助成の拡充等を求める署名は、94,739筆集まり請願したが不採択となりました。このこと、「授業料を払えず学校を去るクラスメートがなくなるよう、授業料を払うために部活動をやめアルバイトをする仲間や修学旅行をあきらめなければならぬ仲間がなくなるよう私学助成の一層の充実を目指して活動してきた」と報告されました。高校生自らが請願活動に奮闘する姿は18歳からの選挙権にも生かされる大切な行為であり立派な主権者教育だと思えました。
今年戦後70年という節目の年に当たり全国の私立学校に通う生徒が一緒に取り組んだ「高校生戦後70年未来プロジェクト」の取組報告は目を引きました。「石巻の復興の火を携えて東北の地を走ったり、県内では空襲があったことや平和を続けるために努力してきたたくさんの方々がいたことを学んだ」との報告には胸が熱くなりました。私立に通う高校生が安心して学業に専念できるよう引き続き授業料の無償化、そして青森県の私学経常費助成の上乗せゼロからの脱却のために頑張らねばと強く思った一日でした。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。 ■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。 1月の相談対応 9件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00～15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

1月のホームページアクセス数 28,475件

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/